

Topic トピック

～より市民に開かれた議会を目指して～

令和4年度

「掛川市議会 議会報告会」



茶のみやきんじろう © 掛川市

多くの皆様のご視聴・ご意見 ありがとうございます

議会報告会は、新型コロナウイルスによる影響で3年ぶりの会場開催となりました。今年度は感染症拡大の懸念もあり、通常の9会場から4会場へと縮小し、区長会及び役員を中心とした175人の皆様にご来場をいただきました。ご参加いただいた皆さん、WEBで動画をご視聴いただいた皆さんに感謝を申し上げます。

※たくさんのアンケートをいただきました。要約して掲載します。



議会報告会の様子

全般的な感想や議会に関するご意見、ご要望について

- 今日のような試みは良いと感じました。続けてください。
- 意見を聞くのであれば、資料の事前配付が原則。配付ができないのであれば、何を報告するのかくらいは説明してほしい。
- どのテーマについても、市民それぞれが自分ごととして感じてもらうことが大事だと思う。市民を含めて全体で盛り上げてほしい。
- もう少し早い時期にワークショップ形式で、テーマ毎の意見交換会を行うべきと思う。
- 行政からの依頼事項が多いので、区長への出席依頼は考えてほしい。

各委員会の中間報告に対するご意見など

総務委員会

テーマ 市の持続的な成長のために

- 問題・課題が多い中、重要課題から一つ一つ早急に進めていただきたい。
- 自治区の最大のネックは、自治会役員・就業年齢の高齢化などがあるが、働きながらも役員ができる体制が必要ではないか。
- 外国人には、生活に支障をきたさないように日本語習得支援が重要。
- 人口を維持していくために外国人、移住者施策も必要だが、子育てしやすい社会をつくることを目指すべきだ。

環境産業委員会

テーマ 掛川市のカーボンニュートラルに向けた意識改革

- 「もったいナイン（9）の日」は良いアイデアだと思う。しっかりとPRしてください。
- 「もったいない」はお年寄りには受けが良さそうではあるが、若者受けしない気がする。もう少し若者受けするスマートな標語を。
- カーボンニュートラルは世界的な問題であり、いくつかの具体案は存在するため、早急を実施することが重要。
- 火力発電に代わる風力や太陽光発電をどのように推進していくのかを、原子力発電の是非も含めて検討していただきたい。

文教厚生委員会

テーマ 新しい学校施設の在り方について

- 再編は、地元の理解のもと実施することが絶対条件。
- 学校再編は自ずとその必要性が高い地域から声が上がってくるので、そうでない所は拙速に行政主導で進めるべきではない。
- 学校再編にあたり掛川市以外の先進地の取り組みを調査し、本市の再編を考えるやり方は、議会の役割を果たしている。
- 子どもたちとの意見交換会を行ってはどうかと考える。

※ 3 常任委員会の発表内容は 4 ページ～5 ページをご覧ください。

議会報告会の動画は、引き続き
視聴できますので、ぜひご覧ください。



視聴はこちら↑